

諸外国における認証レベル規定の比較

項目	米国・EAI (連邦政府認証基盤)	米国・EAP (民間セクタ認証基盤)	英国	豪州	ニュージーランド	EU・IDA
適用範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・GtoC ・GtoB ・GtoG ・inG 	<ul style="list-style-type: none"> ・GtoC ・GtoB ・BtoC ・BtoB 	<ul style="list-style-type: none"> ・GtoC ・GtoB 	<ul style="list-style-type: none"> ・GtoB ・GtoG 	<ul style="list-style-type: none"> ・GtoC 	<ul style="list-style-type: none"> ・GtoG
策定機関	<ul style="list-style-type: none"> ・General Service Administration (GSA) のE-Authentication Program Management Office (PMO) ・Office of Management and Budget (OMB) ・National Institute of Standards and Technology (NIST) 	Electronic Authentication Partnership (EAP)	内閣府電子政府担当特使局 (Office of the e-Envoy)	政府情報管理庁 (AGIMO)	行政サービス委員会 (State Services Commission) の電子政府ユニット	EUのInterchange of Data between Administrations (IDA)
リスクカテゴリの種類	<p>下記の6種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不便さ、苦痛、地位や評判への損害 ・金銭的損失、組織の責務 ・組織計画や公益への被害 ・センシティブ情報の未許可開示 ・個人の安全 ・民事上あるいは刑事上の違反 	同左	<p>下記の7種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の安全 ・犯罪の補助や隠蔽 ・センシティブ情報の漏洩 ・苦痛 ・地位や評判の毀損 ・金銭的損失 ・不便さ 	<p>下記の7種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の安全 ・犯罪の補助や隠蔽 ・センシティブ情報の漏洩 ・苦痛 ・地位や評判の毀損 ・金銭的損失 ・行政業務の継続 ・不便さ 	<p>下記の3種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身元証明の証拠性の強度 ・認証強度 ・取引強度 	<p>下記の5種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全性の損失 ・可用性の損失 ・機密性の損失 ・個人の安全性へのリスク ・金銭的損失
(リスクカテゴリ毎のアセスメントに基づき導出される) 認証レベル	<p>下記の4レベル</p> <p>主張されたアイデンティティの有効性に対する信用度が、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ほとんどない (Little or No) 2. いくらかある (Some) 3. 高い (High) 4. 大変高い (Very high) 	同左 (リスクカテゴリとのマッピングは若干異なる)	<p>下記の4レベル</p> <p>誤認証による損害が、</p> <ol style="list-style-type: none"> 0. 最小 (Minimal) 1. 軽微 (Minor) 2. 重大 (Significant) 3. 甚大 (Substantial) 	<p>下記の4レベル</p> <p>アサーションの信用度が、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 信用度に対する要件なし 2. 若干 (Some) 3. 中程度 (Moderate) 4. 高い (High) 	<p>下記の4レベル</p> <ol style="list-style-type: none"> 0. 利用者に身元証明を求めない 1. 利用者にニックネームの証明を求める 2. 利用者に具体的な身元証明を求める 3. 利用者に具体的な身元証明を求め、取引ログが必要 	<p>下記の4レベル</p> <p>誤認証による損害</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 最小 (Minimal) 2. 低い (Low) 3. 相当な (Substantial) 4. 高い (High)
(認証レベルに応じて) サービスプロバイダが遵守すべき基準	<p>下記に関する基準が存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録時の本人確認に関する要件 ・クレデンシャルの管理に関する要件 ・利用可能なトークンに関する要件 ・脅威への耐性に関する要件 ・利用可能な認証プロトコルに関する要件 <p>※ 詳細は参考資料に記載</p>	同左 (基準の内容は若干異なる)	<p>下記に関する基準が存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録時の本人確認に関する要件 ・利用可能なトークンに関する要件 	<p>下記に関する基準が存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用可能なトークンに関する要件 	<p>下記に関する基準が存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録時の本人確認に関する要件 ・利用可能なトークンに関する要件 	<p>下記に関する基準が存在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録時の本人確認・利用者情報の登録に関する要件 ・クレデンシャルの管理に関する要件 ・利用可能なトークンに関する要件 ・脅威への耐性に関する要件 ・利用可能な認証プロトコルに関する要件 ・アサーションの失効時間に関する要件